

千葉市議会議員

いわさき明子  
市民のめ!



新聞

発行：  
市民ネットワーク  
ちばわかば事務所  
043-284-2339  
2017. 5月

ウーバー

## Uberは、交通不便地域を救えるか？

「Uber」というシステムをご存知ですか？登録された自家用車ドライバーを、必要なとき今いる場所にスマートフォンから呼び出せる、配車システムです。



京丹後市の職員が、スマホで呼んでくれたUber

海外ではタクシー代わりに使えるとして一般的ですが、国内で導入されている、京丹後市の「ささえあい交通」を視察してきました。

ドライバーに登録しているのは、地元のNPO法人の会員なので、どんな人が来るのかわからないという不安はありません。「地域の助け合いだから、いつかは自分が乗せてもらう側になる」とドライバーさんは話していました。また、海外ではクレジットカード決済のみであるのに対し、ふだんカードを使わない高齢者でも使えるよう、現金決済もできるようになっています。

京丹後市では、タクシーの営業所が撤退するような交通不便地域に、新たな取り組みでUberを導入しました。また、それまで30分乗ると1000円以上かかる区間があったバス料金を、上限200円に改定し、利用者を倍増させる取り組みも行っています。千葉市でも、交通不便地域解消のため、抜本的な改革が必要です。（岩崎明子）